

# EDI を介して Windows の Cisco Jabber 向け社内グループを設定する

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、WindowsのCisco Jabber用のCisco Enhanced Device Interface(EDI)によるエンタープライズグループの設定について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Call Manager
- Active Directory

### 使用するコンポーネント

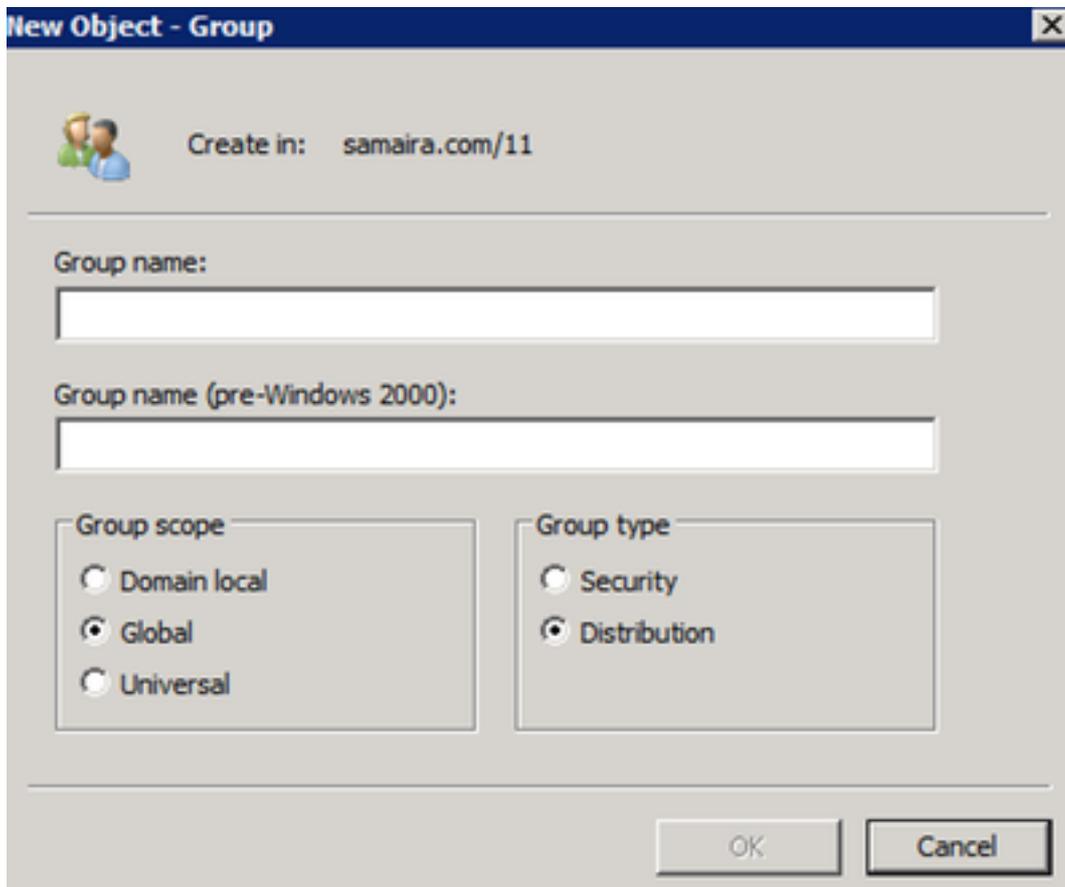
このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Jabber for Windows 11.x以降
- IM and Presence 11.x
- Cisco Communications Manager(CUCM)11.x
- MS Active Directory

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 設定

現在のCUCM 11.0.1は、Microsoft Active Directory(MS AD)を使用するディレクトリグループのみをサポートしています。これは、Microsoft Active Directoryライトウェイトディレクトリサービス(ADLDS)またはその他の社内ディレクトリではサポートされていません。



ADグループが作成されている間に、セキュリティと配布グループという2種類のオプションが表示されます(前の図を参照)。現在、セキュリティグループの同期はサポートされていないため、ディストリビューショングループだけがサポートされています。

## 設定

ステップ1: エンタープライズグループを有効にします。

[CUCM Admin]ページで、[System] > [Enterprise Parameter]に移動します。

[User management]セクションで、[Directory Group Operations on Cisco IM and Presence]を検索し、[Enabled]を選択します

( オプション ) [Synching Mode for Enterprise Groups]ドロップダウンリストから、次のいずれかを選択します。

- [なし(None)] : このオプションを選択した場合、Cisco Intercluster Sync AgentサービスはIM and Presenceサービスクラスタ間のエンタープライズグループおよびグループメンバーシップレコード
- 差分同期 : これはデフォルトのオプションです。このオプションを選択すると、リモートIM

and Presenceサービスクラスタのすべてのエンタープライズグループとグループメンバーシップレコードが同期された後、後続の同期では、最後の同期が発生してから更新されたレコードだけが同期されます。

- [完全同期(Full Sync)]：このオプションを選択すると、リモートIM and Presenceサービスクラスタのすべてのエンタープライズグループとグループメンバーシップレコードが同期された後、すべてのレコードが後続の同期のたびに同期されます。

User Management Parameters		
<a href="#">Effective Access Privileges For Overlapping User Groups and roles</a> *	Maximum	Maximum
<a href="#">Allow non-super user to grant access to administrative web pages</a> *	True	True
<a href="#">User Assignment Mode for Presence Server</a> *	Balanced	Balanced
<a href="#">Directory Group Operations on Cisco IM and Presence</a> *	Enabled	Disabled
<a href="#">Syncing Mode for Enterprise Groups</a> *	Differential Sync	Differential Sync

ステップ2:[Lightweight Directory Access Protocol(LDAP)ディレクトリ設定(Lightweight Directory Access Protocol(LDAP) directory configuration)]セクションで、ユーザとグループの同期が有効になっていることを確認します。

[CUCM Admin LDAP] > [LDAP Directory]に移動し、ディレクトリ設定を選択します。

図に示すように、[Synchronize]で[Users and Groups]を選択します。

### LDAP Directory Information

LDAP Configuration Name *	test
LDAP Manager Distinguished Name *	samaira\administrator
LDAP Password *	.....
Confirm Password *	.....
LDAP User Search Base *	OU=11,DC=samaira,DC=com
LDAP Custom Filter for Users	< None >
Synchronize *	<input type="radio"/> Users Only <input checked="" type="radio"/> Users and Groups
LDAP Custom Filter for Groups	< None >

ステップ3:LDAPディレクトリの同期がどのように設定されているかに応じて、[Perform Full Sync now]をクリックし、作成したディレクトリグループを次の場所にリストします。cucm admin \ user management\user settings\user group\

User Groups (1 - 1 of 1)	
Find User Groups where Group Name begins with	Find Clear Filter + -
Group Name ^	Group Type
<a href="#">group1_distribution</a>	Active LDAP Synchronized Group

現在の例では、LDAPディレクトリに1つのユーザグループだけが作成されています。

ステップ4：ステップ3でリストしたグループ名をクリックすると、グループ内のエンドユーザが表示されます。

**User Group Configuration** Rela

---

**Status**

 LDAP Synchronized Groups cannot be modified

---

**Group Information**

Group Name group1\_distribution  
Distinguished Name CN=group1\_distribution,OU=11,DC=samaira,DC=com  
Group Type Active LDAP Synchronized Group

---

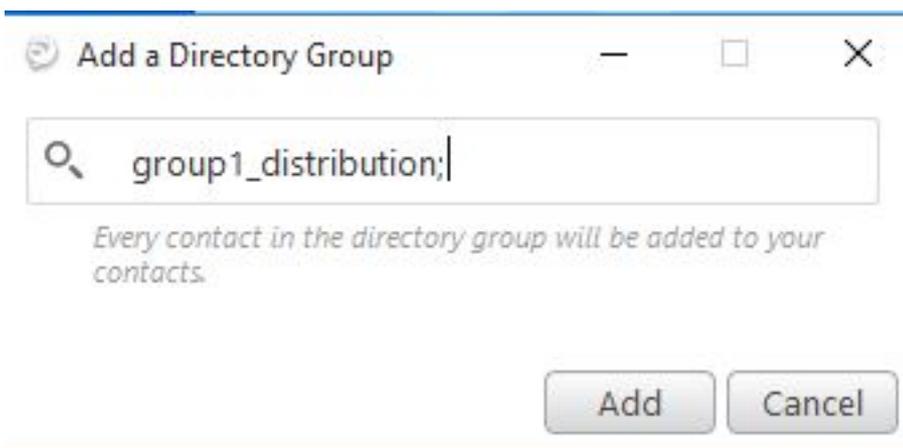
**User (1 - 2 of 2)**

Find User where User ID begins with  Find Clear Filter  

User ID ^	User Display Name
<a href="#">test1</a>	test 1
<a href="#">test2</a>	test2 2

ステップ5: Jabberの観点から、2つのオプションがあります。EDIの連絡先の解決を使用する場合、jabber for windowsで必要な操作は、[Settings] > [File] > [New] > [Directory Group]に移動することだけです。

jabberがLDAPに接続されている間、ディレクトリグループを検索します。LDAPにクエリーを実行し、検索結果を表示できます。ユーザデータサービス(UDS)のエンドユーザは、図に示すように、ディレクトリグループの完全な名前を知っている必要があります。



Add a Directory Group

Every contact in the directory group will be added to your contacts.

Add Cancel



Contacts

group1\_distribution 3

test 1 Available @ test lab

test2 2

ステップ6:すでに追加されているディレクトリグループに新しいユーザを追加する必要がある場合は、次の手順を実行します。

1. AD配布グループにユーザーを追加します。
2. これは、LDAPディレクトリページで定義されたLDAP同期サイクルで実行できるため、CUCMユーザグループセクションで更新されていることを確認します。

## -LDAP Directory Synchronization Schedule

Perform Sync Just Once	<input type="checkbox"/>
Perform a Re-sync Every*	<input type="text" value="7"/> DAY <input type="button" value="v"/>
Next Re-sync Time (YYYY-MM-DD hh:mm)*	<input type="text" value="2016-03-04 00:00"/>

3. または、管理者が[今すぐ完全同期を実行]をクリックします。完了すると、エンドユーザが自動的にjabber(windows)にポップアップし、jabber(windows)のアップデートは動的であるため、jabber(windows)の再起動は必要ありません。ただし、CUCMからLDAPへの同期は、新しいユーザがポップアップする前に完了する必要があります (これはテスト済みの方法です)。



図test3 3のアカウントは、既にインポートされたgroup1\_distributionグループに追加された新しいエントリです。

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報ははありません。

## 関連情報

- [Enterprise Group CUCM 11.xガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)